

# ダイバーシティ推進研究交流発表会 2024 アンケート調査結果報告書

- 1)調査目的 本調査は、『ダイバーシティ推進研究交流発表会オンライン 2024』利用者の属性、参加者の満足度、ニーズを把握し、今後の事業計画の参考とすることを目的とします。
- 2)調査対象 ダイバーシティ推進研究交流発表会 2024 参加者全員
- 3)調査方法 ダイバーシティ推進研究交流発表会 2024 終了後、Web アンケートへの回答をメールにて依頼
- 4)調査期間 2025年3月17日(月)～2024年3月31日(月)

## ■ アンケート集計結果

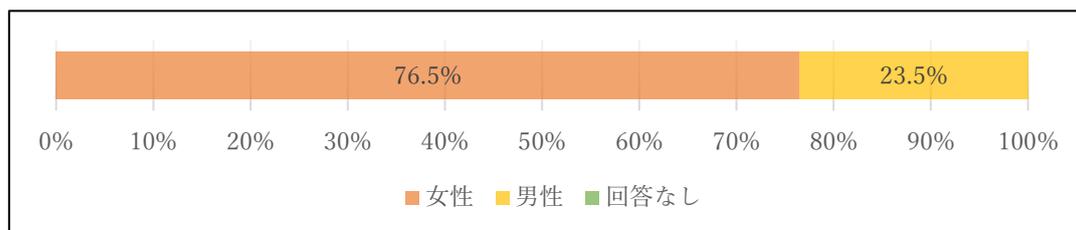
回答数 対象者 61 名、回答者 17 名

回答率 27.9%

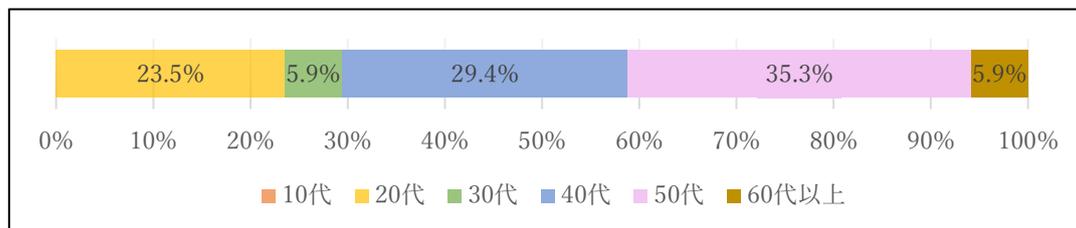
## ■ アンケート調査結果

### 回答者の属性

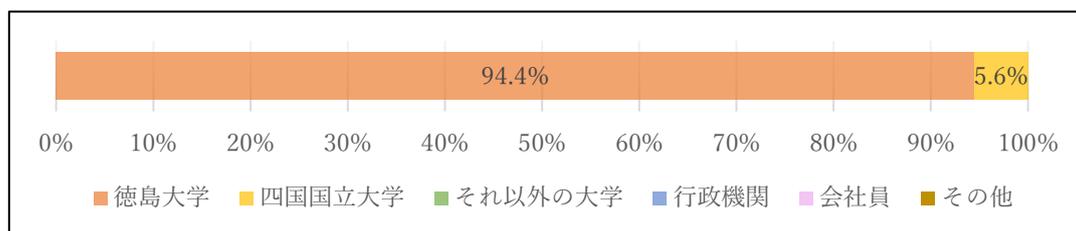
#### ◆性別



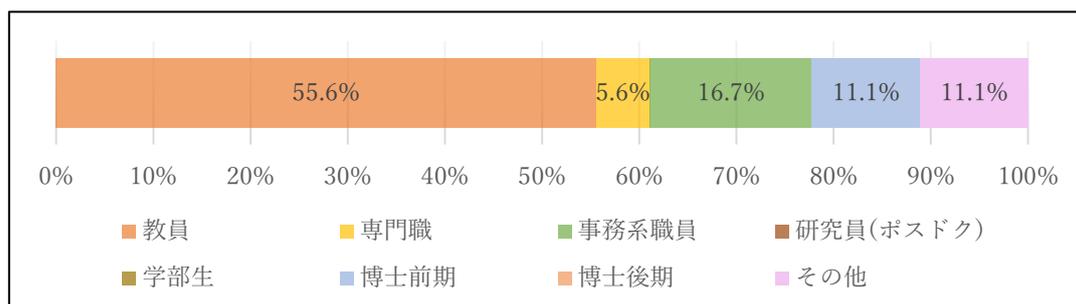
#### ◆年齢



#### ◆所属

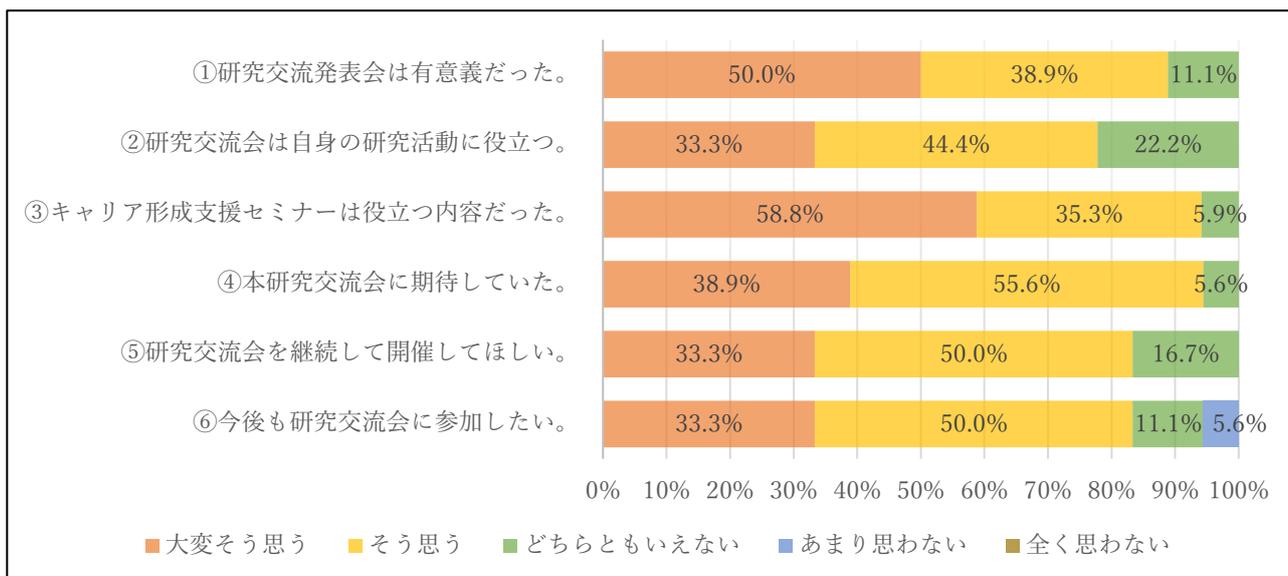


#### ◆職種



回答者の性別では、女性が 76.5%、男性が 23.5%、年齢は 30 代が 5.9%と最も少なかったが、50 代が 35.3%、次いで 40 代が 29.4%、20 代 23.5%、60 代以上で 5.9%と、幅広い年齢層の参加者を得ることができた。所属は研究交流発表会の対象が本学の女性研究者ということもあり、『徳島大学』が 94.4%を占め、『四国国立大学』が 5.6%であった。職種は教員が最も多く 55.6%、次いで事務系職員が 16.7%、博士前期 11.1%、その他の参加者も 11.1%であった。

問. 以下の質問事項について、該当する項目にチェックをいれてください。



『①研究交流発表会は有意義だった』に対して 88.9%が、「大変そう思う」「そう思う」と回答した。また、第二部の外部講師を迎えてのセミナーに対しては、『③キャリア形成支援セミナーは役立つ内容だった』は 94.1%が「大変そう思う」「そう思う」と回答した。『⑤研究交流会を継続して開催してほしい』『⑥今後も研究会に参加したい』は 83.3%がどちらも同数で 83.3%が「大変そう思う」「そう思う」と回答した。

また、『外部講師の方のお話が良かった、参考になった』との声が寄せられた。第二部キャリア形成支援セミナーはオンライン、オンデマンド配信もあったが、その上で、『せっかくの機会であったので、もっと参加者が集まったらよかった』という意見もみられた。発表者の対象が本学の研究者であることや、開催日が年度末の平日ということもあり、多くの方に参加いただくことが難しかったが、今後は開催までのスケジューリングや周知の方法を検討し、改善する必要がある。